

Mine秋吉台
ジオパークセンター

Karstar

MAP



認定ジオガイドによる ジオツアー



ガイドを受けると秋吉台の見え方が変わります

■料金■ (1名様につき)

500円/30分

1,000円/1時間

※場所やコースなどを自由に決める、
オーダーメイドのツアーもあります。
詳しくはHPをご覧ください。

HP



当日受付もできます！

レンタルコムス

電気自動車です

■料金■

1,000円/1時間

3,000円/1日

■貸出時間■

9:30~16:30



カルスター カフェ

■営業時間■

9:00~17:00

■新メニュー■

秋吉台フラッペ 550円

レンタルサイクル

電動もあります

■貸出時間■

9:30~16:30

■料金■

クロスバイク 1,000円/日

電動アシストクロスバイク 2,000円/日

「#みわきゃん」に参加された方は
料金が半額になります (10/31まで)

詳しくはこちら▶

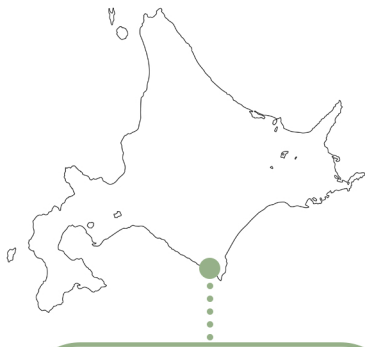


抹茶ソースで洞窟をイメージ



表示金額は全て税込です。

アポイ岳ジオパークの現地調査に行ってきました！



アポイ岳ジオパーク
北海道様似町

現地調査を行なっている小原専門員▼



北海道のアポイ岳ジオパークは、ユネスコ世界ジオパークとしての4年に一度の再認定審査を来年度に控えています。今年度は、日本ジオパークとしての事前確認を書類と現地で行うこととなっており、その調査員として、本協議会事務局の小原専門員が8月17～20日に現地を訪れました。

ジオパークの名称にもなっている「アポイ」とは、アイヌ語の「アペ（火）・オ（ある）・イ（ところ）」が変化したものとし、アイヌの人々が昔この山で火を焚き、鹿の豊猟をカムイ（神）に祈ったという伝説に由来します。そして、アポイ岳は、通常であれば地上に出ることのない、地下のマントルの一部である「かんらん岩」という珍しい石でできています。

現地調査では、かんらん岩でできた大地とその上に暮らす人々、特にアイヌ民族の歴史や文化とのつながりについて、どのようなジオパーク活動が行われているのか、また課題や今後の展開などを関係者と話し合いました。



ジョアナと一緒に考えよう！

ユネスコ世界ジオパークとは？
地質だけ VS 地質以外も 編



国際交流員の
ジョアナです

「ジオパーク」という言葉は英語の造語ですが、どのような意味なのでしょう？「ジオ」はギリシャ語で地球、大地、土地などという意味で、英語のジオロジー（地質学）やジオグラフィー（地理学）という言葉に使われています。「パーク」は公園です。このような造語を聞くと、「ジオパークは地球、そしてその中でも特に地質や地形に焦点を当てている公園なのかな」と思いがちですが、ジオパークは地質だけではなく、実はジオパークは、その土地独特の地質を活用して教育・保全・持続可能な開発の3つの面に力を入れている場所のことを指します。Mine秋吉台ジオパークを例にして考えてみると、学校でのジオ学習や市民向けのイベントで地質の話だけにとどまらず、災害時に身を守る方法や他国の文化について話し、地球を大切にする心を育むなど、教育と保全の面で活動しています。持続可能な開発の面では、ジオパークセンター「カルスター」を拠点として観光客を誘致するアクティビティー（ジオツアー）を提供することで美祿市の経済的な発展に貢献しています。このように、ジオパークは地質だけでなく、地質以外の要素にも目を向けている場所なのです。

次回に続く